

温 泉 分 析 書 別 表

1	源 泉 名	湯元啄木亭1号井と函館水道局鮫川井との混合
2	利 用 場 所	北海道函館市湯川1丁目17番22号
3	温泉分析申請者	登別市登別温泉町203番地1 野口観光マネジメント株式会社 代表取締役 野口 秀夫
4	泉 質	ナトリウム・カルシウム-塩化物泉 (中性等張性高温泉) (旧泉質名: 含塩化土類-食塩泉)
5	療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。	
浴 用	禁 忌 症	急性疾患 (特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全 出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中 (特に初期と末期)。
	適 応 症	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、疲労回復 慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、健康増進、虚弱児童、慢性皮膚病、慢性婦人病 きりきず、やけど。
飲 用	禁 忌 症	腎臓病、高血圧症、その他一般にむくみのあるもの。
	適 応 症	慢性消化器病、慢性便秘。
浴用、飲用の 一般的注意事項		<p>1 入浴の方法及び注意</p> <p>(1) 熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意をすること。</p> <p>(2) 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分位とし、なれるにしたがって延長してもよい。</p> <p>(3) 入浴中は運動浴の場合は別にして、一般には安静を守ること。</p> <p>(4) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守ること。</p> <p>(5) 高度の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の患者は原則として、高温浴 (42℃以上) を禁忌とする。</p> <p>(6) 入浴後は身体に付着した温泉成分を水で洗い流さないのがよい。ただし、「湯ただれ」を起こし易い人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分をふき取るのがよい。</p> <p>(7) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。</p> <p>(8) 飲酒しての入浴は特に注意すること。</p> <p>(9) その他</p> <p>2 飲用の方法及び注意</p> <p>(1) 飲用の1回量は一般に100mlないし200ml程度とし、その1日量はおおむね200mlないし1,000mlまでとする。</p> <p>(2) 一般には食前30分ないし1時間がよい。</p> <p>(3) 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けること。</p> <p>(4) その他 大人一人一日の飲用量は880ml以内とすること (フッ素含有)。 15歳以下のものについては、知見が必ずしも十分でないため、原則的には飲用を避けること。 ただし、例外的に飲用する場合には、医師の指導を受けること。</p> <p>◎ 温泉療養に際しては、医師の指導を受けることが望ましい</p> <p>(注) この別表は、温泉法第14条による掲示に必要な参考資料となるものである。</p>
平成 20 年 11 月 27 日		
北海道立衛生研究所長		

温 泉 分 析 書

環 科 研 函 温 022号										
1 申請者	北海道登別市登別温泉町203番地1 野口観光マネジメント株式会社 代表取締役 野口 秀夫									
2 源泉名および 利用場所	湯川温泉 (源泉名 湯元啄木亭1号井と函館市水道局鮫川井との混合) 函館市湯川1丁目17番22号									
3 利用場所における調査および試験成績										
(イ) 調査および試験者	: 株式会社 環境科学研究所 宇田 久仁博									
(ロ) 調査および試験年月日	: 平成 20年 10月 22日									
(ハ) 泉 温	: 52.6℃ (気温: 22℃) (ニ) 湧出量: - (動力揚湯)									
(ホ) 知覚的試験	: 無色澄明、塩味及びカン味、無臭									
(ヘ) pH 値	: 7.0 (ト) ラドン (Rn):									
4 試験室における試験成績										
(イ) 試験者	: 株式会社 環境科学研究所 小刀 祐 康									
(ロ) 分析終了の年月日	: 平成 20年 11月 11日									
(ハ) 知覚的試験	: 弱黄色、塩味及びカン味、無臭 (採水後 5時間)									
(ニ) 密 度	: 1.0046 (20° / 4°)									
(ホ) pH 値	: 7.07									
(ヘ) 蒸発残留物	: 8.657 g/kg (180℃)									
5 試料1kg中の成分 : 分量および組成										
(イ) 陽イオン	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)	(ロ) 陰イオン	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)			
水素イオン	H ⁺			フッ素イオン	F ⁻	1.8	0.09			
ナトリウムイオン	Na ⁺	1993	83.73	61.83	塩化物イオン	Cl ⁻	3891.	109.8	78.88	
カリウムイオン	K ⁺	110.0	3.56	2.00	水酸イオン	OH ⁻				
アンモニウムイオン	NH ₄ ⁺	1.3	0.07	0.05	硫化水素イオン	HS ⁻	0.0	0.00	0.00	
マグネシウムイオン	Mg ²⁺	228.6	14.92	13.42	チオ硫酸イオン	S ₂ O ₃ ²⁻	0.2	0.00	0.00	
カルシウムイオン	Ca ²⁺	637.8	29.16	22.7	硫酸イオン	SO ₄ ²⁻	704.7	14.67	10.54	
アルミニウムイオン	Al ³⁺				炭酸水素イオン	HCO ₃ ⁻	892.8	14.63	10.51	
マンガンイオン	Mn ²⁺				炭酸イオン	CO ₃ ²⁻	0.7	0.02	0.01	
第一鉄イオン	Fe ²⁺				リン酸イオン	HPO ₄ ²⁻	1.1	0.01	0.00	
第二鉄イオン	Fe ³⁺									
計		2971.	140.2	100.	計		5492.	139.2	100.	
(ハ) 遊離成分										
非解離成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	非解離成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)					
メタ珪酸	H ₂ SiO ₃	70.1	0.90							
メタ硼酸	HBO ₂	25.9	0.59							
計		96.0	1.49							
溶存物質 (ガス性のものを除く)		8.559 g/kg								
溶存ガス成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)								
遊離二酸化炭素	CO ₂	139.7	3.17							
遊離硫化水素	H ₂ S	0.0	0.00							
計		139.7	3.17							
成分総計		8.699 g/kg								
(ニ) その他微量成分	アルミニウム: 0.002mg/kg、銅: 0.015mg/kg、総ヒ素: 0.077mg/kg、マンガン: 0.080mg/kg									
	亜鉛: 0.005mg/kg 第一鉄、鉛、カドミウム及び総水銀: 検出せず									
6 泉 質	: ナトリウム・カルシウム-塩化物泉 (中性等張性高温泉)									
7 禁忌症、適応症	: 「温泉分析書別表」中5に記載する。									
平成 20年 11月 17日					登録分析機関 登録番号 北海道第5号 株式会社 環境科学研究所					